



はだの 議会だより

第239号

令和3年(2021年)2月14日(日)
発行: 秦野市議会 編集: 議会報編集委員会
〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号
☎0463-82-9652 秦野市議会



こちらからも
アクセスできます

主な内容	
◆議案審議	1・6・7面
◆一般質問	2・3・4・5面
◆議会の動向	3面
◆陳情・意見書	5・6面
◆審議結果一覧表	8面

議会だよりへの意見をお待ちしております



口ウバイが黄金色に染まり甘い香りに包まれて早春到来です (撮影者・栗原正行さん)

第4回(12月)定例会

43年ぶりに都市像を改定 新総合計画基本構想を議決

第4回(12月)定例会は、11月26日から12月15日までの20日間の会期で開催されました。
この定例会では、条例の一部改正や補正予算など市長提出議案等22件(うち、報告3件)のほか、議提議案2件、委員会提出議案3件などを審議しました。

議案審議

(議案審議は6面・7面にも掲載)

新たな10年を見据えた 総合計画基本構想が決定

議案第64号 秦野市総合計画基本構想を定めることについて

▼要旨

本市は昭和30年に市制を施行して以来、恵まれた自然環境の下に「みどり豊かな暮らしよい都市」を都市像に掲げ、まちづくりを努め、この間、人口の増加に伴う都市基盤の整備などにより、地域の均衡ある発展を遂げた。

しかし、本格的な人口減少、超高齢社会の到来により、これまでの想定を超えたさまざまなまちづくりの課題が鮮明になっている。

そこで、困難な時代であっても市民一人一人が夢や希望を持って生き生きと暮らし、活躍することができるよう願いを込め、新たな都市像を「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」とした。この都市像の実現に向け、令和

12年度までの10年間を目標年次とした総合計画基本構想を策定し、本市の一層の発展を目指して市民との協働の下、持続可能なまちづくりを推進するもの。

▼本会議での主な質疑

問 現総合計画の評価を新総合計画素案と同時に公表すべきであったと考えるが、どうか。

答 現在、現計画の総括・評価について整理しており、新計画案と併せて公表できるようにしたい。

問 秦野市総合計画審議会からの答申には「毎年度の実施計画においては、適切な進捗管理に基づき必要に応じて適宜見直しを図られるよう要望します」とあるが、見直しについての考えはどうか。

答 新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない状況であり、年度ごとに財政推計の見直しを図

急速充電設備の 設置届け出を義務化

議案第62号 秦野市火災予防条例の一部を改正することについて

▼要旨

急速充電設備の全出力の上限が50キロワットから200キロワットまで拡大されたことに伴い、その設備を設置する場合の基準を改

めるとともに、届け出を義務付けるもの。

なお、この条例は令和3年4月1日から施行するもの。

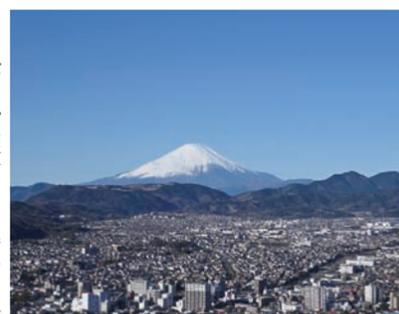
▼付託委員会

総務常任委員会

▼委員会での主な質疑・要望

問 50キロワットを超える出力を有する急速充電設備の設置の届け出が義務化されることだが、設置する場合はどのようなか。

答 設置工事開始の3日前までに消防長が届け出を受け、その後、火災予防上の安全対策に係る書類審査などを行い、設置完了後は現地の確認を実施することとなる。要望 今後は、国の補助事業を活



市民一人一人が自分らしく輝き未来を描ける社会へ

▼本会議での反対討論

素案策定における市民との連携・協働が不十分であること、市民に分かりづらいこと、大規模災害や新たな感染症などへの対応について行政の役割が明確でないことなどから、反対する。

▼本会議での賛成討論

43年ぶりに見直されSDGsの理念にも通じる新たな都市像はこれからの時代に即したものであり、説明動画の配信など「新しい生活様式」に対応した情報発信に努めたことも評価する。市民の思いを受け止め、激変する社会情勢を的確につかみ、共に力を合わせて持続可能なまちづくりを目指し、市民が夢と希望を抱くことができる施策の展開を期待し、賛成する。

▼採決の結果

本会議 原案可決(賛成多数)

用した高出力急速充電設備の普及促進が図られると予想されるため、制度の周知徹底と、適正な指導を行ってほしい。

▼採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成全員)

マチイロ
「マチイロ」で議会だよりが読めます

スマートフォンアプリ「マチイロ」で議会だよりを配信しています。

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者負担となります。

こちらから▶